

オペレーターによる船員の働き方改革 や生産性向上に向けた取組

令和2年1月24日(金)

国土交通省海事局

オペレーターによる船員の働き方改革等に向けた取組①

- オペレーターへのヒアリングにより聴取した、船員の働き方改革や生産性向上等に向けた先進的な取組（ベストプラクティス）を紹介。

仮バースの取得等運航スケジュールの調整による船員の負担軽減の取組

- 定期的（週1回、月2～3回等）に仮バースを取って船員の休息を付与。
- 定期的に仮バースを取るため、船団を増やして余裕のある運航スケジュールを組んで対応。
- 仮バースが取れない場合、通船を使って船員に陸上での休息を付与。
- 仮バース時に船員が陸上で休みやすくするため、港から街までのタクシー代を別途支給。
- 船員の労働時間をオペレーターが把握し、オーバータイムしないよう運航スケジュールの決定や配船を行っている。

船内設備の改善による船員の負担軽減の取組

- ケミカル船のポンプルームを廃止し、ディープウェルポンプ型（タンク毎にポンプを設置した船舶）にすることにより、荷役時のバルブ操作や監視業務等の船員の作業負担を軽減。
- 特殊なポンプや配管（ヒーティングジャケットタイプポンプ、蒸気トレース管）にすることにより、貨物の凝固を防ぐことで、タンククリーニングの作業時間を短縮。

オペレーターによる船員の働き方改革等に向けた取組②

船員の労働環境改善の取組

- 船員室を従来船の床面積の1.5倍に拡大。
- 船内LAN環境（Wi-Fi）を整備し、各船員室にパソコンを配備。
- 夏場の酷暑対策のため、デッキや通路に野外冷房（ミスト）装置を搭載。

船員の確保・育成の取組

- オーナーが個別に船員を雇用するのではなく、オペレーターである自社が雇用し、船員と陸上勤務とを行き来できるような勤務形態を検討中。

運航の効率化等の取組

- 往復の貨物を確保して積載率を上げるため、他のオペレーターとの共同運航を実施。
- 定期的に荷主との連絡会を実施し、改善点等について意見交換。その中で、荷役設備の改修等一部改善要望が実現した例もある。